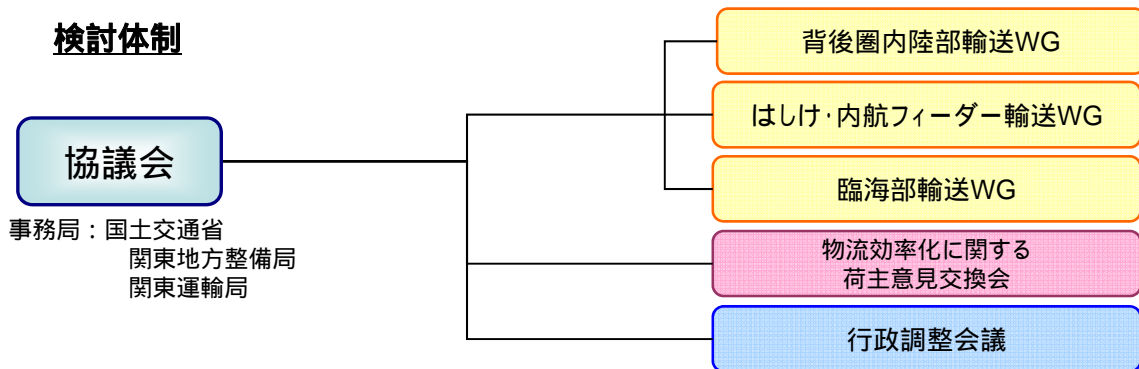


京浜港物流高度化推進協議会の取り組み

関東地方整備局、関東運輸局では、京浜港に関係する事業者と連携し、効率的な海上コンテナ輸送体系の構築やモーダルシフト⁽¹⁾の推進に資する官民一体となった取り組みを進めています。平成20年度より、取り組みの一層の深化に向け、ワーキンググループを一新し、海上コンテナ物流の効率化に向け実証実験をはじめとした様々な取り組みを進めています。

検討体制



実証実験の取り組み

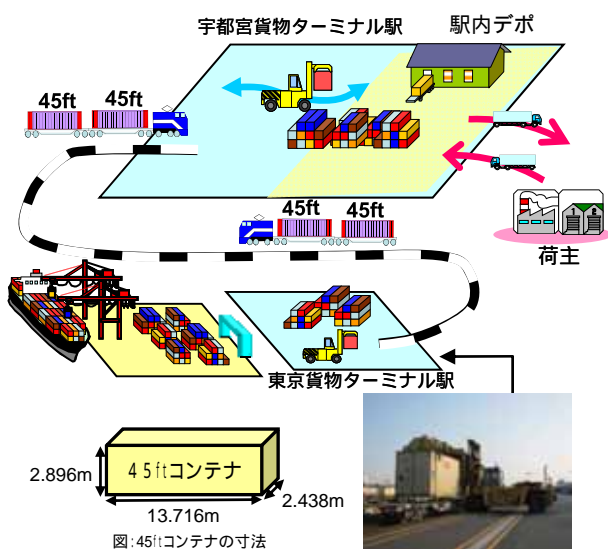
背後圏内陸部輸送WG

京浜港～背後圏内陸部における海上コンテナ輸送の効率化を目的に、鉄道輸送サービスの拡充及び、インランドデポ⁽²⁾・共同デポ⁽³⁾の整備・活用による環境に優しい高度な物流体系の構築に向けた取り組みを進めています。平成22年2月には、我が国で初めて45ft実入りコンテナ鉄道輸送実証実験を実施し、鉄道輸送におけるハード面での障害の有無について検証を行いました。また、平成22年3月には盛岡貨物ターミナル駅と東京貨物ターミナル駅間で鉄道輸送のモデル事業⁽⁴⁾を開始しました。

45ft実入りコンテナ鉄道輸送実証実験

- 平成22年2月に、45ft実入りコンテナを鉄道で輸送する実験を行い、45ft実入りコンテナによる輸送効率化の効果、鉄道区間の走行、駅内荷役等の検証を行いました。

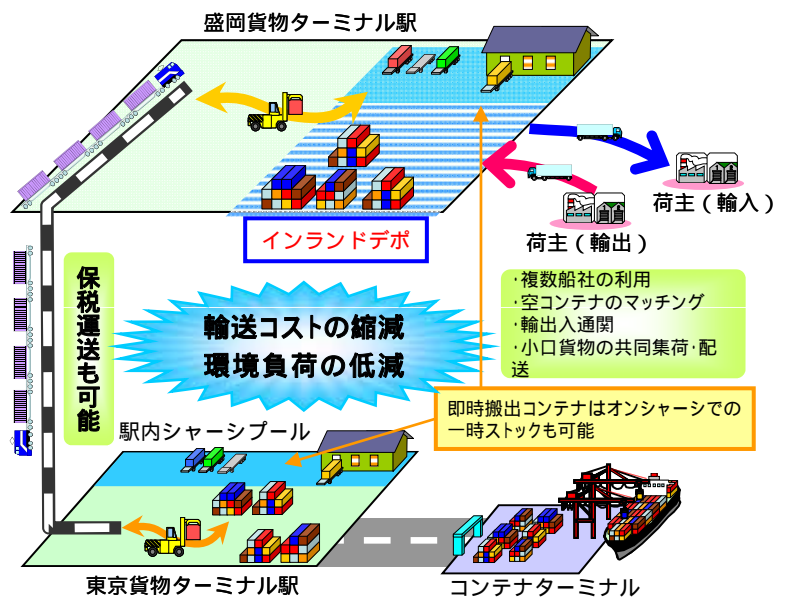
45ftコンテナは2005年に国際規格（ISO）化されました



実証実験時の45ft実入りコンテナの貨車への積込み

海上コンテナ鉄道輸送によるモーダルシフトの推進

- 平成22年3月に、盛岡貨物ターミナル駅と東京貨物ターミナル駅間で鉄道輸送のモデル事業を開始し、モーダルシフトの一層の推進を図っています。



用語の説明

- モーダルシフト：輸送の方式を転換すること。地球環境問題への対応に向け、環境負荷の少ない大量輸送機関である内航海運や鉄道貨物輸送によって輸送効率を高めようとするもの
- インランドデポ：貨物の集荷配達の便宜上、港湾・空港地域から離れた内陸部に立地し、通関手続きが可能な保税蔵置場を有する貿易貨物輸送基地のこと（保税蔵置場）外国貨物の積卸、運搬、蔵置ができる保税地域（保税地域）輸出入手続を適性かつ効率的に行い、また、貨物を輸入手続未済のまま、蔵置または加工・製造、展示等を行うことができる特定の場所
- 共同デポ：グループ企業や取引先が同じ企業などによる共同利用のデポ
- モデル事業：ビジネスとしてサービス提供が可能となるよう、事業の立ち上げ時から数年間国費により事業リスクの一部を補填する事業のこと。モデル事業終了時には、民間事業者により自立的・継続的な事業が展開されることを目指す。

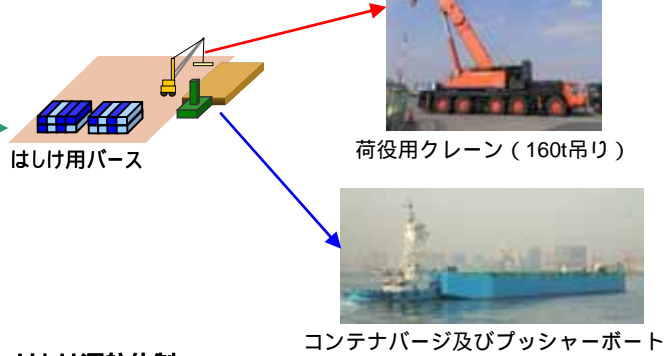
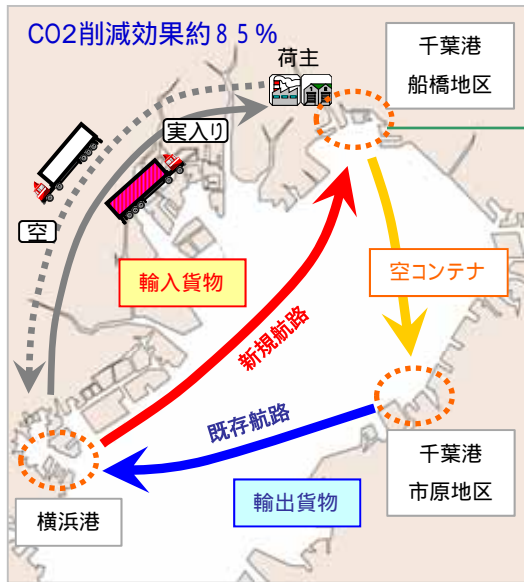
はしけ・内航フィーダー輸送WG

京浜港間で運航している海上コンテナはしけ輸送⁽¹⁾サービスの拡充に向けた取り組みと、内航フィーダー輸送⁽²⁾の活性化に向けた検討を進めています。

平成21年度には、千葉港船橋地区において、はしけ用バースを設置し、横浜港、千葉港船橋地区、千葉港市原地区において、三角輸送によるはしけ輸送モデル事業が始まりました。

海上コンテナはしけ輸送網の強化に向けた取組み

三角輸送はしけ輸送ネットワーク



はしけ運航体制

- 平成22年2月24日運航開始
- 週1便(毎週木曜日)
- コンテナバージ及びブッシャーポート
(コンテナバージ)CFT5:168TEU積
(ブッシャーポート)グリーンダッシュ:2,000馬力
TEU(Twenty foot Equivalent Units):20フィートで換算したコンテナ個数の単位
(20ftコンテナ1個を1TEUという)

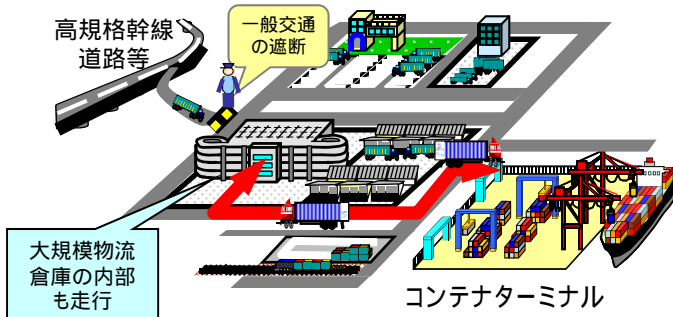
臨海部輸送WG

コンテナターミナル~コンテナターミナル直背後の大規模物流倉庫間等といった臨海部における輸送効率及び輸送能力の向上を目指した検討を進めています。

京浜港臨海部におけるマルチシャーシ⁽³⁾を用いた45ftコンテナ積載車両の走行実験

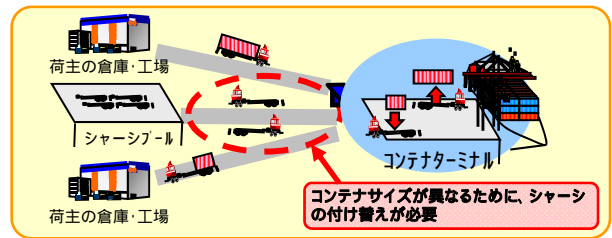
- 平成21年度は45ftコンテナのトレーラー輸送実現に向け、45ft積載可能なマルチシャーシによる走行性及びCFS⁽⁴⁾での荷役性の検証を行いました。

45ftコンテナ積載車両の走行実験(臨港地区)のイメージ

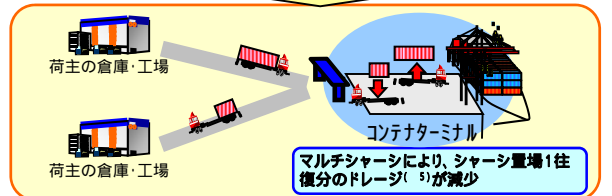


マルチシャーシを活用した効率化のイメージ

● 現状



● マルチシャーシ活用後



■ マルチシャーシ活用による効果

- トラクタ回転率の向上
- シャーシのみでの走行が減少する
- シャーシ置き場が少なくて済む

環境負荷軽減
輸送経費削減

用語の説明

- 1 はしけ：湾内や河川などで比較的短距離を輸送する小型船舶のこと。駆動装置を持っていないためタグボートに1隻ないし数隻曳航されて、一般雑貨、原材料、コンテナなどを運ぶ
- 2 内航フィーダー輸送：基幹航路上の港と、その他の国内各地の港湾を結ぶ内航海運サービスのこと
- 3 マルチシャーシ：異なるサイズのコンテナを積載することができるシャーシのこと

- 4 CFS(container freight station)
：コンテナフレートステーションの略。通常はコンテナターミナルの一部に配置される荷捌き用の施設をいう。輸出される貨物(主として小口貨物)の荷受け、行き先別の仕分け、コンテナ詰めをしたり、輸入された混載貨物を仕分け配送したりするまでの手続きや作業が行われる。施設の一部を保税蔵置場にして通関も行われる。
- 5 ドレージ：コンテナをトレーラーなどで陸上輸送すること